

# 合格体験記

森 茉莉

皇學館中学校出身

進学校 三重大学医学部医学科

合格校 三重大学医学部医学科

豊田工業大学

同志社大学 生命医科学部

私は、成績を上げる一番の方法は、授業中に寝ないことだと思っている。それは単に授業内容をきちんと聞くからということだけではない。授業中には学習内容以外の話（先生の余談）を聞くことができる。それが、意外と役に立つ。物理で聞いたことが倫理に、英語で聞いたことが国語に出てきたりする。そんな時、「あの授業で聞いたな・・・」と思いながら見ているとビックリする程頭に入ったりするのだ。私は暗記系がとても苦手だったが、このやり方で覚えた事は結構楽に覚えられたし、忘れにくかった。また、世界史や日本史、倫理などでは余裕があれば、登場する人物に関連する本やマンガを読んでおくとより覚えやすい。暗記が嫌いな人は特にこの2つのやり方を試してみてほしい。

また、受験を通して痛感したのが、何でもやってみるべき、ということだった。実は、私は高2の冬までは医師になる気は全くなかった。しかし一日医師体験を通して、今までの後込みを大いに上回る医師の魅力を知った。当初、私にとって一日医師体験は無視してもかまわない程些細な行事だったが、結局これによって進路を決めてしまった。進路を迷っている人も、そうでない人もできる限り多くの事を体験してみてほしい。それが一見進路に関係の無さそうな事でも、後々生きることは多いのだ（例えば、経験が多いほど小論・面接で多くの説得力のある話題を持てる）。

最後になってしまうが、受験は1人でするものではないという事を忘れないでほしい。そうは見えなくても、家族は全力でサポートしてくれているし、受験生が驚くほど心配してくれている。友達とするバカ話は心がほぐれるし、何より同じ境遇の者同士、励ましあったり競いあったりできる。時には厳しい意見を出す先生には反発を覚えるかもしれないが、合格できるようにたくさんフォローしてくださっているということも知っていてほしい。私はこの1年、本当に辛くて、大変なことが多かった。しかし、ものすごく充実していた。自分がここまで頑張れるとは知らなかったのも、とても貴重な発見ができた。忙しい、死にそう、とかボヤきながら友達と頑張れた事は、今後、きっと役に立つだろう。

# 小林優美

皇學館中学校出身

進路先：三重大学 医学部 看護学科

合格校：三重大学 医学部 看護学科

藤田保健衛生大学 医療科学部 看護学科

私は受験をするにあたり、たくさんの人に支えてもらいました。友達、先生方、家族、友達の家族、応援してくださった方には感謝の気持ちで一杯です。

受験勉強で大切なことは、努力し続けることだと思います。私は毎日学校に残って、宿題や古典・英語の予習をしていました。応用問題が苦手だったので基礎は完璧にしようと思ひ、基礎問題を何度も繰り返し解き、解法を暗記してまいした。英単語・熟語は早く覚え始めた方が、長文が読みやすくなります。古文単語も同様です。私は自宅では勉強に集中できなかったのて、土・日は図書館や友達の家にこもって勉強していました。友達の勉強する姿はとていい刺激になり、集中力がアップし、お互いに頑張れました。

センター試験は目標点数に届かず、二次試験には大の苦手な国語の記述があり、一か月で仕上がるのかどうか不安でした。センター試験対策はとて重要ですが、二次試験まで一か月しかないのて、並行して二次試験対策もしておく方がいいと思います。

それから、国語の課外に参加し、中西先生や坂本先生、安道先生にお願いして、古典や現代文のプリントを大量に頂き、毎日朝から晩まで国語漬で必死に問題を解きました。先生方は私が毎日何回も添削をお願いしても、下校時間を過ぎていても、その度理解できるまで丁寧に教えてくださりとても頼りになりました。

面接は、林先生に原稿をより良いものに何度も推敲して頂き、進路の先生方にアドバイスを頂いたおかげで本番はとてうまくいきました。

私の受験勉強は時間がかかり、なかなか成績が上がらずつらい時期もありましたが、諦めずに最後まで粘り続けた結果、合格することができました。努力すれば自分が納得いく結果が必ずついてきます。

私はたくさんの人の応援や励ましのおかげでここまで頑張ることができました。受験を通じてたくさんの人と関わることができて良かったです。本当にありがとうございました。

皆さんも、周りの先生や友達、家族と助け合い、受験を乗り切ってほしいと思います。最後まで自分を信じて努力し続け、頑張ってください！！

# 森田倫果

皇學館中学校出身

進学先： 大阪大学 外国語学部 外国語学科

合格校： 兵庫県立 理学部 生命科学科

立命館大学 薬学部 薬学科

私は小さい頃から今でも多くの職業に憧れています。だから文理選択や志望校を決める際は相当悩みましたが、英語と化学が好きという理由で理系クラスに進んだ結果、医・歯・薬・理・外国語学部を一校ずつ受験してしまいました！そして今、大阪大学に進学を決めた理由は憧れてきた大学であり、周りの人達が一番喜んでくれた合格校だからです。このような決め方で良いのか不安ですが、確かに私は英語が大好きだし幼い頃からの世界中を飛び回りたいという夢を叶えるために一回生から本気で勉強したい！という目標をみつけたので大学生活にとっても期待しています。

大阪大学には試験科目が英語のみの後期試験で合格しました。1,2年生の頃は得意だった英語の成績は3年生になって下がり気味でしたが1,2年生で英語にかけた時間は決して無駄ではありませんでした。私は受験勉強以外に高校生活で最も努力した事は英語の勉強だと思っているのでその努力が報われたようで本当に嬉しいです。前期は不合格でしたが数ⅢC、理Ⅱの勉強の成果も中期と私立の合格に表れて良かったです。

私は合格に必要なものは努力・体力と一緒に頑張る友達だと思います。私が医・歯学部合格できなかったのは運やミスではなく完全に学力不足が原因です。でも自分なりに努力していれば試験後には達成感が得られ後悔はしません。また友達がいたから辛い時も耐えられ後期まで頑張れたと思います。友達や先生方や家族の支えがなければ受験をやり遂げることではできませんでした。応援してくださった人達にとっても感謝しています。

受験は大変ですが頑張ればいつかは良いことがあるはずです！私は最後まで強い気持ちを保てませんでしたが合格できました。そして努力は裏切らないということを実感しました。後輩のみなさんが志望校に合格できるよう応援しています。頑張ってください！！

# 伊達 圭一

皇學館中学出身

進学先 名古屋大学 工学部 化学・生物工学科

合格校 名古屋大学 工学部 化学・生物工学科

東京理科大学 工学部 工業化学科

同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科

僕が今から述べることは、主に受験をするにあたっての心構えについてです。具体的に勉強法などは紹介できません。

まず、高1、高2のみなさんへ。高1の方はまだ受験なんて先のことと思っている方がほとんどだと思います。しかし、必ず夢を持って下さい。受験において一番自分を支えてくれるもの。それはまさに夢です。僕は夢の力で受験を乗り越えられました。毎日勉強していると、一步一步夢に近づいているという何とも言えない実感をひしひしと覚えることができます。人生は旅に例えられることができます。目的地がはっきりしていない旅はどこかで道を踏み外してしまうかわかりません。しかし、目的地がはっきりしていれば、多少のトラブルがあっても何とか目的地まで行こうとするはずです。勉強というのはその旅のカーナビのようなものです。別にカーナビがなくとも目的にはたどり着けますが、その差は歴然です。ですが、そのカーナビを付けるか否かはあなた次第です。

続いて高3のみなさんへ。おそらくさあやってやるぞという気持ちで勢いづいていると思います。しかし、目先の勉強ばかりにとらわれすぎはいけません。長い目でもう一度自分はなぜ勉強しているのかを考えてみることも大切です。合格を勝ち取るには勉強さえすればいいと思うのでは少し危険です。なぜなら自分の夢より勉強の方が重要だと錯覚してしまうからです。あくまで勉強はカーナビです。目的地を入力しないとカーナビは作動しません。あとよく作戦を練って下さい。センターの配点や2次試験の配点、そしてどの教科で他の受験生と差がつきやすいのか、今の時代はいくらでも調べることが可能です。

最後に。僕は受験を通して本当にたくさんのことを吸収できました。もちろん学力だけでなく、困難に立ち向かう精神力など数えきれません。受験は、きっとみなさんを強くしてくれるはずです。頑張ってください！

# 田前 佑斗

皇學館中学校出身

進学校： 琉球大学 工学部 環境建築工学科

合格校 琉球大学 工学部 環境建築工学科

受験を通して僕が感じたことは、計画性が必要だということです。僕は3年間部活を続ける中で、学習は学校での授業を中心に勉強を心掛けていました。漢字や英単語、数学の小テストも一生懸命取り組みました。やはり、学校生活の基盤になっているものが、受験では重要になってきて、規則正しいリズムを習慣づけることで勉強効率はとても向上します。僕の失敗点はそのリズムを学校に頼っていたことです。長期休暇に入ると、昼夜が逆転してしまい、勉強をしているのに、模試の結果は下降のみで、その流れでセンター試験は予想を大きく下回ってしまいました。「このままじゃ、まずいぞ。」と焦り始めた時、父にこれから次の受験までスケジュールを書いたらどうかと言われ、日付にその日に理解する問題番号を書いて、終わったところには赤く塗っていき、それをリビングに貼りました。受験前、真っ赤に塗られたスケジュールは大きな自信となり落ち着いて解答できました。

こういったことから、学校ではしっかりと勉強が計画されていて、日々の授業の大切さを実感しました。自分自身が真剣になれば、家族、友人、先生方も必ず真剣になってくれる味方です。受験は大変ですが、”明日やろうは馬鹿野郎だ！”と言い聞かせ日々精進して行って下さい。

# 池田 千紗

皇學館中学出身

進学先 大阪府立大学 看護学部

合格校 大阪府立大学 看護学部

私の受験科目は小論文（英文読解を含む）と面接でした。小論文対策は高3の9月後半から始めました。そのときまで小論文を書いたことはなく、とても遅いスタートでした。小論文対策は家庭教師をつけて、9月後半から11月の後半まで週に1回のペースで授業をしてもらいました。また、新聞の記事を切り抜き、その記事について自分の意見を書くこともしていたので、小論文にかける一日あたりの時間の割合がとても多かったです。しかし、他の科目の勉強もあるし、小論文対策だけに時間を費やしてはいけないと思っていたのでとても焦りがありました。小論文がなかなかかけない理由は書くことに慣れていなかったのもありますが、知識が乏しかったことです。私は、最初「受験のため」と思って新聞を読んだり、小論文の本を読んだりしていました。しかし、新聞の中で興味深い記事を見つけたり、知らなかったことを知ったりして、読むもの・見るもの・聞くもの全てが自分の知識として吸収されていくことがとても楽しく感じられました。また、医療に関する記事を読んだり、現代の医療の現状について知ったりすると”看護師になりたい”という思いも増しました。

面接対策は、2週間前から追い込みました。10月頃からノートに面接項目を書き、自分の意見はまとめていたのですが本格的に練習をしていませんでした。2週間前から学校では先生に練習していただき、毎晩家では母に練習をしてもらいました。

高校生活では、私は部活に入っていたので充実した日々でした。高1の時は受験への意識が少なく、勉強に対する姿勢が弱かったです。高2のクラス替えで理系のクラスメイトたちから受ける影響がとても大きく、勉強に対する姿勢が強くなったのを覚えています。授業についていけなくちやと、焦りながら勉強していました。その頃から定期テストの順位や点数が上がり始めました。

私が高3の夏まで悩んだことは部活と勉強の両立です。私はうまくやりくりができずにいました。しかし、私が今強く思うことは部活を途中でなげださなくてよかったことです。このことは心からそう思っています。理由は言葉にどう表せばいいのか悩むのですが、今の私があるのは部活を3年間やり遂げ3年間の中でたくさんの人に成長させてもらったからだと思っています。

私はこの受験を通して、何かを身につけることはすぐにはできない、ということが身にしみてわかりました。何度も何度も問題を解き、それを蓄積することによってやっと身に

つくだなと思いました。私があの時ああしておけばよかった、と思うことは高 1 から授業、復習、定期テストを大切にすることです。高 1 から習うことがすべて受験に繋がっているのもっとしっかり身につけておけばよかったと思います。

この私の大学受験は、周りの人の助けがあつての合格だと思っています。最後になりましたが、私にたくさんのことを教えて下さった先生方・顧問の先生方、いい刺激を与えてくれ、支えてくれた友達・部員のみんな、家族、本当にありがとうございました。

## 堀井香菜美

皇學館中学出身

進学先 三重県立看護大学看護学部

合格校 三重県立看護大学看護学部

私は、夏休みとても悩んだ末に推薦入試を受験しようと決意しました。

そこで、最も思ったことは評定平均を少しでも高くとっておいてよかったということです。一般入試で受験を考えている人も、定期考査にはきちんと力を入れて取り組み、よい評定がもらえるように努力するべきです。自分の志望校がまだまだ変わるかもしれません。

もう一つ受験を通して思ったことは周りの人たちの支えが本当に大切だということです。どんなときでも応援してくれて、励ましてくれた先生、家族、友人には本当に感謝しています。私が合格できたのは、自分が努力したことでもあると思いますが周りの人たちの支えがあつたからでもあると思います。受験は一人で挑むものではないんだと強く感じました。精一杯努力をし、周りの友人たちと支え合ってみんなで頑張ってください。

# 濱口 彩子

皇學館中学出身

進学先 三重県立看護大学看護学部

合格校 三重県立看護大学看護学部

私が三重県立看護大学の推薦入試を受けようと思ったのは、高校3年生の夏のことでした。1年生の入学の時、担任の先生に「君たちはもう今から受験生」と言われました。当時はなんて無茶な言葉だ、思ったのが本音です。でも、いざ受験をリアルに考えて、調べ、決めて、勉強していく中で、それが無茶なんかではなく、私たちのための優しさだったんだと気付きました。ぎりぎりの時期になって英語の文法や数学の公式を覚え直すのは本当に大変なこと。だけど、学んだその瞬間にきちんと覚えて自分のものにしておけば、そんな苦勞を味わうことはないのです。私は授業をもっともっと大切にすればよかったと何度も後悔しました。それくらい、授業は価値のあるものです。ないがしろにはしないで下さい。

面接や小論文の試験を受けるのであれば、新聞やニュースはもちろんのこと、たくさんの人との会話が大切になってくると思います。不意に出された質問の答えやヒントがその中に隠されていることがあるかもしれませんし、今より少し世界が広がるのではないのでしょうか。大学受験に挑む際、忘れてはいけないのは、”自分は決して一人で頑張っているんじゃない”ということです。支えてくれている両親や家族、先生方、友人、周りの人々のおかげで頑張れるのです。だから、ストレスやプレッシャーに負けそうになったときはそのことを思い出して見て下さい。負けていられないって、まだ出来ると強くなれます。私はそうやって頑張りました。

目標があるということは素敵なことです。そこに向かうために努力することはもっと素敵なことです。そうやって前を向いていれば、必ず未来は明るいと思います。自分が正しいと思うことに無駄はありません。何事にも一生懸命取り組むことがいちばん大事。それができれば必ず自分の糧になると私は思っています。



# 金子 稜

皇學館中学出身

進学校： 同志社大学理工学部インテリジェント情報工学科

合格校 三重大学工学部情報工学科

防衛大学校理工学部

同志社大学理工学部インテリジェント情報工学科

関西大学システム理工学部電気電子情報工学科

立命館大学情報理工学部

僕が受験勉強でやっていた良かったと思うことはセンター試験の対策と物理演習、数学の授業の復習です。まず英語について言えることですがセンター（80分で4000語を読み解く）の訓練をしておけば多少難易度の高い私大の英語はだいたい解けました。

そして読解の訓練と並行してやっておきたいのが語彙の強化です。これには単語帳＋単語カードが有効だと思います。単語帳はがんばって覚えましょう。単語カードには長文でわからなかった単語を書いていつも持ち歩き、暇を見つけて見直すとよいです。物理はあまり授業で問題を扱わないので自分で問題集もやっておけば力が付きます。数学は授業で相当高度なことをするので自分では特別に何もしませんでした。がんばって授業の復習をしましょう。なおセンターの対策ですが自分は力があるからなどといって特定の教科の対策をおろそかにしないことです。得意科目でも時間切れは必至です。全ての教科の対策をやっておきましょう。市販のセンター模試などが効果的だと思います。

そして、最後に誰もが言うことですが入試勉強はなるべくスタートが早いほうが有利です。光陰矢のごとしと言うように過ぎた時間は戻りません。勉強不足で後悔することはあってもしすぎたことで後悔することはないはずです。ですから皆さん今からでも出来ることをがんばってやりましょう。